

ふれあい情報

2018年7月31日(火) 第284号

■発行 日本退職者連合
 ■発行人 菅井義夫
 ■連絡先 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台3-2-11

<TEL> 03-5295-0507 <FAX> 03-5295-0541 <e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

持続可能な社会保障制度確立へ意見交換



▲坂口総括審議官(左から3人目)に要請書を手渡す人見会長。要請には右から野田副事務局長、野口組織委員長、左から川端政策委員長、竹田男女平等参画推進委員長、他に林副事務局長が参加した(7月24日、厚労省)

2018年度政策・制度要求

厚労省 坂口総括審議官に要請

退職者連合は、第22回定期総会で決定した2018年度政策・制度要求(年度要求)及び低所得高齢単身女性問題に関する政策・制度の要求実現に向けて、7月24日と27日に厚労省、同25日に国土交通省、内閣府に対して要請行動を行いました。24日は、午後1時30分から厚労省の坂口卓総括審議官と意見交換。退職者連合の人見一夫会長は「自己責任や高齢者へのシワ寄せでなく、持続できる社会保障制度の確立が重要」と要求の実現を求めました。また27日には、午前10時30分から厚労省共用第5会議室で社会保障関係部局の担当官32人への要請を行いました。



▲坂口総括審議官は、実質1時間にわたって各要求項目について厚労省の考えや回答を述べた。(同上)

連合に報告とお礼

神津里季生会長と相原康伸事務局長を表敬

7月25日午前11時から連合会長室で退職者連合三役は、第22回定期総会の報告とお礼を兼ねて、連合会長と事務局長を表敬し、懇談しました。



▲神津会長(正面真中)と相原事務局長(右隣り)に総会報告する人見一夫会長(左隣り)。左から野田副事務局長(背中)、宮園副会長、石原副会長、右から川端政策委員長、菅井事務局長。なお矢木副会長、林副事務局長、青柳久子副事務局長、竹田男女平等参画推進委員長、高柳部長が同席した。(7月25日午前11時、連合本部8階、会長室)

27日の同省年金、医療、介護などの関係部局実務担当官要請には、各局係長クラスが出席。要求項目について各担当局から回答がありました。要請の冒頭には人見会長が、政策統括官付労使関係担当参事官室の辻政司調査官に要請書を手交しました(次ページに写真掲載)。

◆なお厚労省、国土交通省、内閣府の回答は、2018年度「結論と動向」にまとめ、退職者連合のホームページに掲載します。退職者連合の要求は掲載済み。

ホームページは退職者連合で検索を

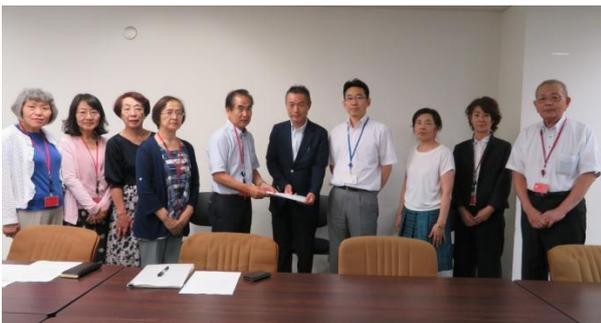
退職者連合



▲辻調査官に要請書を手交する人見会長。写真左は、実務担当官(左側)への要請行動。

今年度、新たに国土交通省要請を実施

安心して暮らせる居住の場の確保、高齢者など移動困難者対策の実施求める



▲石坂課長(右から5人目)に手交。(住宅局)



▲金子課長(右から4人目)に手交。(公共交通総合政策局)

国土交通省と内閣府への要請は、14時からスタート。はじめに住宅局続いて公共交通総合政策局に対して行なわれました。終了後は、会場を内閣府に移して16時30分から実施されました。退職者連合の要請団は、竹田邦明男女平等参画推進委員長をはじめ、担当の野田那智子副事務局長、青柳久子副事務局長、北村典子副会長、

高見恵理子幹事、本村富美子幹事、内山礼子幹事、高柳京子部長など男女平等参画推進委員会委員で構成されました。なお、国土交通省要請では、都市交通連絡協議会の塩田忠氏も参加しました。住宅関係では、石坂聡住宅総合整備課長に要請書を手交。安心して暮らせる居住の場の確保や第22回定期総会で岡山退連の新見三郎会長

国土省・住宅局要請では、被災高齢者への仮設住宅ではない住宅確保求める



▲武川局長(右から5人目)に手交する竹田委員長。右から青柳、高柳、高見、左から内山、本村、野田、北村の各委員。(内閣府男女共同参画局。7月25日)

から出された大規模災害での高齢被災者の仮設住宅ではない終いの棲みかとなる住宅確保についても要請しました。交通関係では、公共交通総合政策局の金子正志交通計画課長に手交、高齢者など移動困難者に対する地域の特性を考慮した公共交通の確保を求めました。また内閣府では、男女共同参画局の武川恵子局長に低所得高齢単身女性問題に関する政策・制度の要求について竹田男女平等参画推進委員長が要請書を手渡しました。